

機能改善等内容一覧（1 / 2）

項番	案件名	案件概要
1	本番サービス提供時間の拡充	本番サービス提供時間をメンテナンス等を除き、24時間365日運転とする。
2	PCdesk(DL版)PCdesk(WEB版)の機能構成見直し	将来的に全ての手続きをPCdesk(WEB版)に一本化することを見据え、PCdesk(DL版)とPCdesk(WEB版)で重複する機能をPCdesk(WEB版)へ統合する。また、給与支払報告書をはじめとする個人住民税の各申告手続きをPCdesk(WEB版)に移植する。 具体的な見直し内容は、ホームページのお知らせ文中の「更改前後のPCdesk(DL版)とPCdesk(WEB版)の機能概要一覧」を参照。
3	利用者認証システムの開発 (シングルサインオンの実現)	利用者認証システムを新たに開発し、各システム及びサイト間のシングルサインオンを実現する。また、様々な行政サービスへのログインが可能なデジタル庁運用のGビズIDとの連携機能を実装し、GビズIDでのログインを可能とする。 ＜シングルサインオンの対象システム＞ PCdesk(WEB版)、PCdesk(SP版)、PCdesk Next、eLお支払サイト ※PCdesk(DL版)、民間税務ソフト向けAPIは対象外
4	利用届出（新規）及び給与支払報告書提出の操作性向上	eLTAXの利用者増加に伴い、eLTAXへの入口となる利用届出（新規）及び給与支払報告書提出の各手続きを対象として、システム操作・入力時に必要な操作案内や項目説明等を画面上にリアルタイムで表示し、操作性の向上を図る。 また、給与支払報告書提出の手続きについては、直感的でわかりやすいステップ式の入力画面を導入する。

機能改善等内容一覧（２／２）

項番	案件名	案件概要
5	提出先追加の省力化	事前に登録済みでない提出先に対して申告・納税を行う場合においても、手続きを中断せずに操作が進められるように、ポータルセンタで提出先追加を自動的に行う仕組みにする。
6	メッセージボックス等におけるメッセージ判別方法の改善	税理士等が関与先の各種手続きを行った際にメッセージボックス等に通知されるメッセージについて、メッセージの件数が多い場合においても判別が容易になるように、PCdeskの画面表示項目、検索・並び替え項目を見直す。
7	プレ申告データに関するメッセージの改善	プレ申告データの税目の判別が容易になるように、メッセージに手続名称を設定する。
8	源泉徴収票の提出方法の見直し	<p>源泉徴収票の提出方法の見直しに関する税制改正(*)に対応する。また、この対応に伴い、給与支払報告書、公的年金等支払報告書及び源泉徴収票の提出の一元化を廃止する。</p> <p>(*)源泉徴収票の提出方法の見直しに関する税制改正 令和９年１月１日以後に提出すべき給与所得及び公的年金等の源泉徴収票について、給与等の支払をする者が、市区町村の長に支払報告書を提出した場合には、その報告書に記載された給与等について税務署長に源泉徴収票を提出したものとみなす。</p>